様式－２

現場ニーズと技術シーズのマッチング

申請書

令和元年　　月　　日

新技術活用評価検討部会　宛

（北海道開発局　事業振興部　技術管理課長　宛）

応募者名：

印

所在地：〒

電話：

*（応募者が複数の場合は、以下同様に列記する）*

下記の技術を「現場ニーズと技術シーズのマッチング」における技術シーズとして応募します。

記

　ふりがな

１．技術名称：

　　 （副題）：

２．窓口担当者（選定結果通知先等）

企業・団体名：

所属：

役職・氏名：

所在地：〒

電話：　 ＦＡＸ：

E-Mail：

*（応募者が複数の場合は、応募者毎に窓口担当者１名を以下同様に列記する。その場合、最初に記載した窓口担当者を代表窓口担当者（選定結果通知先）とする。また、応募者が複数の場合でも、選定結果の通知は、代表窓口担当者宛にまとめて送付する。）*

３．共同開発者

共同開発者名：

部署：

役職・担当者：

所在地：〒

電話：　 ＦＡＸ：

*（共同開発者が複数の場合は、以下同様に列記する*

様式－３

技　術　概　要　書

|  |  |
| --- | --- |
| 募集テーマ名 |  |
| ふりがな  技術名称（副題） |  |
| 技術の概要  （200字以内） |  |
| 技術の詳細  （箇条書きまたは参照資料番号・頁を記入） | 1. 応募技術の特徴            1. 応募技術が画期的な点            1. 応募技術を使用する場合の条件（注意）等              1. 活用の効果及び現場試行で確認が必要な事項              1. 現場試行において予想される不具合と対応方法 |
| 【⑥添付資料一覧】  添付資料－１  添付資料－２  【留意事項】 | 様式以外の添付資料の一覧を記入  （応募技術の説明資料）  （公的機関の審査・評価等の写し：該当があれば）  添付資料については、各１０枚を上限に収まるように要約して作成してください。 |

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。

様式-３**【記入例】**

技　術　概　要　書

|  |  |
| --- | --- |
| 募集テーマ名 | **別紙「令和元年度　募集テーマ一覧」の「背景と求める（期待する）効果の概要」及び様式-１「新技術セッション」発表申込書のテーマ名欄と同一とすること。** |
| ふりがな  技術名称（副題） | **「新技術セッション」発表申込書で記載した技術名及び様式-２「現場ニーズと技術シーズのマッチング申請書」で記載する技術名と同一とすること。** |
| 技術の概要  （200字以内） | **技術の概要を２００字以内で簡潔に記載すること。** |
| 技術の詳細  （箇条書きまたは参照資料番号・頁  を記入）  **なお、必要であれば参照資料を添付し、参照する資料の番号、ページを記載すること** | ①　応募技術の特徴  **応募技術の特徴について、箇条書きで簡潔に記載すること。**  ②　応募技術が画期的な点  **応募技術が従来の技術等と比べて画期的な技術である点を、箇条書きで簡潔に記載すること。**  ③　応募技術を使用する場合の条件（注意）等  **応募技術を使用する現場または施工者の条件、あるいは使用する場合の注意点等があれば、箇条書きで具体的に記載すること。**  ④　活用の効果及び現場試行で確認が必要な事項  **従来技術に対する優位性、および活用した場合に期待される効果（想定でも可）及び現場試行により確認が必要な事項を箇条書きで簡潔に記載すること。**  ⑤　現場試行において予想される不具合と対応方法  **現場試行した場合に、自然条件、現場条件、適用範囲及び使用する場合の注意点、課題等があれば、箇条書きで簡潔に記入すること。**  **【共通事項】**  **様式以外の技術的事項を補完する添付資料は通し番号を記入の上、１０枚程度に要約して作成願います。**  **なお、上記の記載と併せて技術の概要がわかる図や写真（パンフレット・カタログ）、公的機関の審査・評価等の該当がある場合は写しを提出してください。図や写真等は自由様式とします。** |
| 【⑥添付資料一覧】  添付資料－１  添付資料－２  　　　　・  　　　　・  　　　　・  　添付資料－７ | **建設技術審査証明**  **公開特許公報**  **パンフレット**  **カタログ**  **施工フロー（写真）**  **〇〇試験結果報告書** |

※この様式は、今回の審査の参考として用いるものであり、無断で他の目的に使用することはありません。